

『答えのない時代』をいかに生き抜くか——。企業経営に役立つ視点を探る!

財界

ZAIKAI
a Japanese business biweekly

「世界と伍し」 国際卓越研究大学の 認定第一号

「世界と伍し」 国際卓越研究大学の 認定第三号

東北大學・富永悌一の 成績と運営

「データとAIで
医療機関の経営効率化を」
**富士通が目指す
『AIエージェント』戦略**

2025 10/8

◎日本の針路を探る

日米協会会长
(元駐米大使)

(完結未次回)
藤崎一郎

◎インタビュー

デンカ社長

石田 郁雄

◎高校座談会

タモリさんが登場！

福岡県立 筑紫丘高等学校

令和7年10月8日発行(隔週水曜日) 令和7年9月24日発売 昭和28年10月3日第三種郵便物認可 第73巻第20号



表紙の人
松屋社長
古屋 毅彦

Essay • すいひつ

「寄付のための会社」
をつくって……



佐藤 英吉
さとう・ひでよし
[MIYOSHI(ミヨシ)
代表取締役]

「自分にゆとりができるのを待つて人を救おうとするならば、いつまで経っても人を救う日はおとづれない」——。渋沢栄一が埼玉県立川越高校に贈ったこの言葉は私の心に残り続けています。

ると考えています。なぜなら、寄付をすることによって社会貢献に資することはもちろん、理念に共感した人材が全国から集まつて来てくれるからです。そういうふた人材が集まれば、自ずと製品に磨きはかかりますし、画期的なアイデアが生まれます。当社はこれまで累計3・6億円の寄付をしてきました。年間

ンの子どもたちに贈る取り組みも行っています。

寄付する分野は、平和・教育・環境・福祉・文化・スポーツの6つです。前述以外にも、ファーストリティリング様やキヤノン様、ソニーグループ様などと並んで難民映画祭のスポンサーに手を挙げたほか、21年からは女子ゴルファーの支援も行っています。また、地元の小学生と一緒に監視カメラを組み立てて寄贈する体験型社会科見学や高校生のビジネスコンテストの支援なども行っています。

私にとって「寄付のための会社」という考え方は母親の影響とも言えます。ピアノの講師だった母は私が小学生のときにがんの宣告を受けました。その後

の私も同行しました。贈る側と贈られる側の双方を間近で見たこと、がんばり苦しみながらも社会に貢献しようとする母の姿は目に焼き付いています。

さて、肝心の寄付の財源はどう賄っているのか。当社は先ほど「G—cam」の開発・製造・レンタルを主力事業としています。全国に8600台超をレンタルし、主に建設現場で稼働しています。昨年にはポケットサイズのウェアラブルカメラ「G—P OKE」も開発しました。

G—camは雨風に強く、現場で電源を挿すだけの簡便性が特長です。手元に届けばすぐに設置して利用できます。そのため、建設業や警備、農業、イベン

です。商社などを介さず、工場から直送しているため、低コストを実現しています。このG—camが事業の安定収益につながっているというわけです。

もともとは電子機器の下請け製造業でしたが、なかなか競争力を上げることができなかつたのも事実です。そこでお客様からの相談をきっかけに、手作りで開発しました。ですから、他社が簡単に真似できないという点も強みと言えるでしょう。

安定した事業があり、当社の理念に心から共鳴する社員がいることで利益を生み出し、寄付ができます。世界平和を実現するためにも、微力ながら当社ができるることをやつていきたいと思つています。

始めたタイミングでしたが、B-SIでは1995年にそれらを見越して情報セキュリティマネジメントシステムの前身となる

12) 「がおります、一ヶ月半
急便」で培つてきた同社の小口
保冷配送サービスにおける品質
の安全・安心を実現する認証を

す。でも思って、仕事の
伴走役を担つてきました。共に
アジア初、世界初の国際規格を
つくっていきましょう。